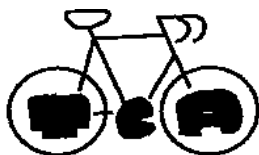


TCA ニュース



= 2002年2月発行 = 【No. 159】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しみ 行楽・旅を楽しみ 道楽・道を楽しみ 友楽・友を楽しみ 遊楽・遊びを楽しむ

ケイリンに行ってみよう



京王閣競輪場

「自転車をもっと好きになる講習会」の一つとして、オリンピックの種目にもなった競輪ってどんなものかもっと良く知ろうという企画をしました。

競輪というとギャンブルの暗いイメージを持っているかもしれませんが、バンクを“シャーッ”と風をきって走る姿は美しいんです。

そんな競輪をスポーツとしてもっと楽しむために普通では分らない競輪の知識、一般には入れない競輪場を知るチャンスです。

京王閣競輪場へのアクセス



- 日 時：2002年2月23日(土)
12時30分 雨天開催
- 集合場所：京王相模原線「京王多摩川」駅
橋本寄り改札口前(進行方向前寄り)
- 目的場所：京王閣競輪場
- 費用：入場料50円(その他実費各自負担)
- 担当：渡辺康雄・日向宏之
- 交通：京王線新宿駅から特急を利用、調布駅で橋本行きに乗換えて一駅(約20分)
- 問合せ：事務局 中村 (TEL 03-3541-6540) (当日のみ連絡先：渡辺 090-8514-1967)
- 参加申込：参加希望者は事務局へ「参加申し込み」(電話可)をして下さい。

都営新宿線 橋本行き(約30分)

~~~~~



# REPORT

## 2002年新春初詣ラン 『板橋七福神と近傍の富士塚めぐり』 に飛び入り参加して

一般参加：原田 八代重

平成14年1月6日(日)光り輝く晴天のもとに、午前9時45分 巣鴨駅前に異様ないでたちの集団が膨れ上がり、路行く人々は、好奇の眼差しで凝視し始めた。

集団は、人目を憚らない思い思いの恰好で誇らしげに愛車(自転車)を携えている。

私は、徐々に羞恥心よりも誇らしげな気分になりながら駅前に立っていた。それが、東京サイクリング協会の方々と接した私自身の気持ちの変化でした。

たかが自転車と言うけれど、見る側に『魂』さえも感じさせるほどに存在感がある。それは、自力(エネルギー源)がもたらす自転車と身体との連帯がそのように感じさせるのではないかと思った。この熱い意欲を持った自己愛の強い人たちの集団が、どんな団結を披露してくれるのか、とても楽しみなスタートとなった。

都内を自転車で乗り回すことにただ感動し、私の視線は定まらなかったが、目的の七福神めぐりは滞りなく進められました。

お寺なのか神社なのか怪しげな「二拍手」をしている人がいたが、まるで借り切ってしまったような『七福神めぐりご一行様』にとっては大した問題でもなかった。

しかし、走行中その度ごとに尻を上げねばならぬ歩道との段差の多さにはうんざりした。それは、実際に走行してみないと分からないことであるが、道路整備関係者には目をかけきりに向けて欲しい部分です。(車椅子利用者にとっても同様)

東京は、“そこのけ ベル音”の多い街であり、ベル音に麻痺した街でもある。

しかし、私達一行にとってベル音は不要であり、使いたくない物でもあった。

今回、安心して走行できたのは、混雑を避けた時間帯を企画し、役員の方々の誘導・指示を頂いたからだと思っています。そして、何よりも感動したのは、巾広い人員構成と思いやりに満ちた団結力のある本当に良い仲間だなあと考えたことです。

総勢43名、事故もなく爽やかに七福神めぐりを達成することが出来ました。

投げたお金が賽銭箱からが転げ落ちてしまったけれど、大勢でお参りしたので、きっと誰かのお賽銭でご利益を頂ける一年であると思います。

また、走行後は懇親会(40名参加)が行われ、北川相談役、加藤副会長から新年の元気なお言葉を頂き、一同『酒盛り場』となり和やかに過ごしました。まだ空に星が出てないのに、まあ飲むは飲むは!!。

飲酒運転(自転車)がちょっと心配になったけど、新年なので・・・

最後に、東京サイクリング協会主催の会に参加させて頂き感謝申し上げます。皆様の今後のご活躍を祈念しております。ありがとうございました。



【七福神コース：走行距離24km・走行時間1時間40分(磯部氏記録)】

恵比寿:観明寺～ 毘沙門天:文殊院～ 福祿寿:長命寺～ 弁財天:安養院～  
寿老人:能満時～ 布袋尊:西光寺～ 大黒天:西光院